



やさとっ子

四日市市立八郷小学校

学校通信

第 8 号

平成 26 年 9 月 2 5 日



今週に入り、9月27日（土）の運動会に向けて、どの学年も本番さながら、最後の総仕上げの練習に取り組んでいます。台風も去り、予報によりますと、当日は幸い運動会日和に恵まれそうです。ご観覧、お声援をよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査の結果について

今年4月に6年生を対象として実施された全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。学力調査は、国語A・B、算数A・Bの2教科・4種類が行われました。A問題は主として知識、B問題は主として活用の力について調べるものです。同時に学習状況についても、質問形式での調査がありました。

1 学力調査について

本校の結果を全国平均と比べると、国語A・Bと算数Aがやや低い、算数Bについては、それよりももう少し低い結果となりました。また三重県平均と比べると、国語Aは同等、Bはやや高い、算数A・Bはわずかに低いといった結果となりました。

項目別に、もう少し詳しく強み・弱みを見ていくと、以下のようなことが言えます。

【国語】

(1) 分析結果

- ・国語A（主に知識）では、「書く能力」と「言語についての知識・理解・技能」に比べ、「読む能力」の課題が大きい。
- ・具体的には、「故事成語の意味と使い方の理解」、「情景描写の効果をとらえる」、「新聞の投稿を読み、表現の仕方をとらえる」、「物語の登場人物の相互関係をとらえる」といった設問への正答率が低い。
- ・国語B（主に活用）は、A問題に比べると全国平均との差は少なかった。しかし「書く能力」、「言語についての知識・理解・技能」について課題が大きい。
- ・具体的には、「立場を明確にして、質問や意見を述べる」、「二つの詩を比べて読み、表現の工夫をとらえる」といった設問への正答率が低い。

(2) 改善の方向

- ・「漢字を正しく書く」 → 間違えやすい字は、全体の場で時間をとって確認する。国語辞典を使って、言葉の意味を調べる活動を通して語彙を増やす。
- ・「故事成語の理解」 → いくつかの故事成語の意味や成り立ちについて教え、興味・関心に応じて調べる場を設定する。
- ・「新聞の投稿を読み、表現の仕方をとらえる」 → 新聞に親しみ、いろいろな投稿を読んで、様々な表現の工夫を知る。自分が伝えたいことを、投稿の表現を参考にして文章にする。
- ・「聞く力」 → 話の内容を正確に聞き取り、整理してまとめる活動を取り入れる。
- ・「書く力」 → 話し合い活動や、学習後の感想など、日常的に書く機会を増やす。
- ・「詩の学習」 → 同じ作者や題材の作品にも触れさせ、多様な表現の工夫に気づかせる。学んだことを基にして、自分で詩を創作する楽しさを多く体験させる。

【算数】

(1) 分析結果

- ・算数A（主に知識）では、「数量や図形についての技能」は全国平均を上回っていた。反面、「数量や図形についての知識・理解」の課題が大きい。
- ・具体的には、「異分母どうしの加法」、「割合が1より大きい場合と小さい場合の比較量の求め方」、「分数の相等及び大小の理解」といった設問への正答率が低い。
- ・算数B（主に活用）では、「数量や図形についての技能」は全国平均を上回っていた。反面、「数学的な考え方」の課題が大きかった。
- ・具体的には、「示された情報を基に、条件に合う時間を求める」、「示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述できる」、「最大値に着目して、棒グラフの棒を棒の中に表すことのできない理由を記述できる」などの設問への正答率が低い。

(2) 改善の方向

- ・「割合の理解」 → 整数の場合の計算を基に、数直線を用いて小数の倍に当たる量も同じように求められることを理解させる。
- ・「分数の大小関係」 → 分数を具体物・図・数直線などを用いて表し、実感として理解させる。
- ・「図形関係」 → 作図の手順を図形の特徴と対応して学習させる。
- ・「筋道を立てて考え、それを説明したり記述したりする力」 → 1つの問題に対して、いろいろな考え方や解決方法を発表させる。言葉、数、式、図、グラフを用いて考えたり、説明したりしながら、お互いの考えを交流し合う場面を多く設定する。

2 学習状況調査について

多くの項目で、全国や三重県平均よりも望ましい結果となっていました。その中でも特によかった項目は以下の通りです。

- ・朝食を毎日食べている。学校へ行くのは楽しい。
- ・家で計画を立てて勉強している。宿題をしている。学校の復習をしている。
- ・学校の授業時間以外の読書の時間。図書館や図書室へよく行く。読書は好き。
- ・地域の行事に参加している。
- ・人の気持ちが分かる人間、人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う。
- ・国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会へ出た時に役に立つと思う。

反面、数値が低めで気になる項目としては、以下のようなものがありました。

- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・感想文や説明文を書くことは難しいと思う。

3 家庭学習の状況について（6年生）

- ・毎日の宿題は、音読、漢字練習（ドリル）、計算練習（ドリル）が基本。
- ・その他に、日々の学習の補足的なプリントを配布。
- ・自主学習ノートを使い、各自が自主的な家庭学習をすることを奨励している。内容例として、国語は日記や漢字練習、算数は単元のまとめや計算ドリル。また社会や理科は、学習した内容についてまとめながら復習をするなどを指導。取組の状況については個人差がある。

4 まとめ

今回の学力調査は、全体としては残念な結果となりました。分析の結果、弱みとなっている部分については、まず改善の方向にあるような取組を行っていきます。さらに夏休み中にあった「補充学習会」、「朝の学習」の充実による基礎学力の定着、また思考力・表現力を伸ばすため「学び合いの授業」を取り入れた校内研修の充実などを通して、改善を図っていきたくと考えています。

学習状況調査の結果からは、学習に対して前向きで、読書が好きで、何より学校が楽しいと感じている児童の割合が高いことがわかりました。そんな子ども達の思いに応えるべく、6年生だけでなく学校全体で、確かな学力の育成に向けて更に取組を進めていかねばと、思いを新たにしております。ご家庭でも、家庭学習への声掛けなど、ご支援をよろしくお願いいたします。